

平成27年度第2回理事会
議事録

平成27年 6月 3日

一般財団法人 神戸市水道サービス公社

一般財団法人神戸市水道サービス公社
平成 27 年度 第 2 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 27 年 6 月 3 日 (水) 午後 2 時 ~ 午後 3 時
2. 会 場 神戸市役所 4 号館 602 会議室
3. 理事現在数及び定足数並びに出席理事及びその氏名
理事現在数 4 名 定足数 3 名
出席評議員数 4 名
出席した理事の氏名 安藤 直哉, 山本 裕光, 中塚 弘明, 児玉 成二
4. 監事現在数並びに出席監事数及びその氏名
監事現在数 2 名
出席監事数 2 名
出席した監事の氏名 森田 成敏, 和氣 大輔
5. 議長の氏名
安藤 直哉
6. 議 題
第 1 号議案 平成 26 年度事業報告及び決算等の承認について
第 2 号議案 平成 26 年度公益目的支出計画実施報告書の承認について
第 3 号議案 定時評議員会の招集の決定について
報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告
8. 理事会の議事の経過の要領及びその結果
 - (1) 定足数の確認
冒頭で事務局が定足数の充足を確認した。
 - (2) 議案の審議状況及び議決結果等
 - ①第 1 号議案
「平成 26 年度事業報告及び決算等の承認について」
平成 26 年度事業報告及び決算等の承認について, 常務理事が説明を行った。
これについて審議の結果, 出席理事全員異議なく, 本件は可決承認された。
 - ②第 2 号議案
「平成 26 年度公益目的支出計画実施報告書の承認について」
平成 26 年度公益目的支出計画実施報告書の承認について, 常務理事が説明を

行った。

これについて審議の結果、出席理事全員異議なく、本件は可決承認された。

③第3号議案

「定時評議員会の招集の決定について」

定時評議員会の招集の決定について、常務理事が説明を行った。

これについて審議の結果、出席理事全員異議なく、本件は可決承認された。

④報告事項1

「代表理事及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告」

代表理事及び業務執行理事の職務の執行の状況について、常務理事が報告を行った。

(4) 閉会

以上をもって議案等の審議等を終了したので、午後3時00分に議長は閉会を宣言し、解散した。

以上の決議を証するため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人2名がこれに記名押印する。

平成27年 6月 3日

一般財団法人神戸市水道サービス公社

議 長 理事長 安 藤 直 哉 ㊟

議事録署名人 監 事 森 田 成 敏 ㊟

監 事 和 氣 大 輔 ㊟

- 監 事： 公社は移行法人であるため公益法人会計基準に準拠して決算書を作成している。この基準のメリットのひとつに、特定資産勘定を適用できることが挙げられる。資産のうち、現預金の割合が多いとのことであれば、退職給付引当金見合分の流動資産を特定資産（退職給付引当資産勘定）へ振替えることも可能である。今後、検討してみてもどうか。
- 監 事： 公社HPの決算等の掲載内容について、決算理事会資料がそのまま公開されている。決算公告だけの会社が多くを占める中、公開内容についても検討する必要があるのではないか。
- 理 事： 公社事業に占める競争性の割合が高まる中、HPの決算等の掲載内容としては、どこまで開示が必要なのか。
- 監 事： 兵庫県に提出する書類や、外郭団体として公表すべき内容との整合性を見極めて開示する必要があるのではないか。少なくとも、財務諸表の内訳表や個別注記表については、公開する必要はないように思う。
- 理 事： 神戸市の外郭団体の流れとしては今までは詳細にわたり掲載してきたが、中身を吟味する時期に来ている。
- 理 事： 資金運用はどのように行っているのか。個別に相談されているのか。
- 理 事： 大口定期の見積り合わせで対応している。
仕組み債等リスクが高いものも存在するので大口定期以外の運用は現在のところ検討していない。
- 理 事： 特定資産勘定に退職給付引当金見合分を振り替えた場合、科目を預金に入れている場合と比べ、資金の運用方法や期間に制約はあるのか。
- 監 事： 安全安定な資産運用を行う必要があるが、運用期間に制限はない。
何に使用するか目的のみが制限されている。
- 監 事： 特定資産勘定を適用した場合、ペイオフまで考慮するととなると、普通預金に預けておくこととなり、運用収益の確保としてはデメリットとなるのでは。
- 監 事： 安全性確保をどこまで求めるかという問題。資金運用における安全性確保と運用収益のトレードオフとなる。